



可也コミュニティセンター

# しまてらす

2022年11月1日発行

糸島市志摩初 18 番地 3

TEL/FAX 092-327-1734

E-mail : kaya.k@city.itoshima.lg.jp

No.32 号

## 糸島市民まつり 3年ぶりに開催！！



情報メール  
いとしま



可也コミュニ  
ティセンター

10月1日(土)2日(日)、第10回目を迎える糸島市民まつり第1弾がんばれ糸島まるっとフェスが、糸島市交流プラザ志摩館前広場を中心に開催されました。

気温が30度近くなる秋晴れのもと、可也小学校6年生の児童たちによるロックソーラン節のオープニングでスタート。交流プラザ志摩館広場には『糸島グルメグランプリ』や『糸島よかもん物産展』のブース、キッチンカーが参加。志摩中央公園プロムナードの『わんぱく広場』には、いとしま天文台号や、九州盲導犬協会、自衛隊による体験型ブースが参加。多くの市民が集い、会場は熱気に包まれて3年ぶりの開催を盛り上げました。

第2弾糸島市民感謝祭は、11月26日(土)27日(日)伊都文化会館前広場にて、糸島地域で活動する団体等のステージイベントや、糸島キッチンカー&パンまつりが開催されます。

### 紙ヒコーキ大会 福岡県大会出場者決まる！！ (福岡県アンビシャス運動)

今年の紙ヒコーキ大会可也大会が10月15日、開催されました。1年生から6年生までの27名が参加。A4のコピー用紙を折り、2回ずつの測定をおこない、10m以上か、4秒以上飛ばし、規定記録をクリアしたら、12月4日(日)太宰府のとびうめアリーナでおこなわれる福岡県大会出場のチャンスを手にすることができます。

今年は21名が県大会出場の規定記録を超えることができました！参加してくれた皆さん、大会開催のお手伝いをしてくださった区長さん、青少年育成指導員の皆さん、ありがとうございました。



紙ヒコーキ大会の様子



いとしま天文台号



可也小学校ロックソーラン節



## 11月13日(日)3年ぶりの福岡マラソンです！！

3年ぶりに「福岡マラソン」が11月13日(日)に実施されます。周辺住民の皆様には交通規制など様々な面でご迷惑をおかけしますが、ご支援ご協力の程よろしくお願ひ致します。

可也コミュニティセンターはゴール地点の為、選手の更衣スペースとなります。

11月13日(日)当日は関係者以外敷地内に入ることができません。ご理解の程よろしくお願ひ致します。



## 福岡マラソンゴール地点で花のおもてなし！



可也校区区長会は、糸島市社会福祉協議会・JA糸島支店・糸島市商工会・シルバー人材センター・いとしま応援プラザ・可也コミュニティセンターと共催で、10月13日(木)JAアグリのご指導・ご協力を得て、ゴール地点での『花のおもてなし』の作業をしました。

当日は色とりどりのパンジーが選手を出迎え、疲れた身体を癒してくれることでしょう。



花植え作業

## 11月の行事予定



- 5日(土) 10:00 アンビシャス広場(いも掘り)
- 5日(土) 10:00 しま歴史倶楽部(木札づくり)
- 5日(土) 13:30 アクティブシニア・かしまし学級(切り絵①)
- 8日(火) 9:40 ひまわりの種飛ばし(可也小)
- 8日(火) 10:00 初心者向け運動講座
- 8日(火) 18:00 市長懇談会
- 8日(火) 19:00 区長会
- 10日(木) 10:00 可也アクティブシニア・かしまし学級(切り絵②)
- 11日(金) 10:00 ダーツkaya
- 15日(火) 10:00 おとなの歴史旅(加布里)
- 16日(水) 10:00 男厨喰楽部
- 17日(木) 10:00 可也未来塾
- 18日(金) 8:30 市同協フィールドワーク
- 19日(土) 13:30 アクティブシニア・かしまし学級(切り絵③)
- 22日(火) 10:00 初心者向け運動講座
- 24日(木) 9:00 楽々ウォーク
- 26日(土) 10:00 アンビシャス広場(コーラづくり)
- 27日(日) 9:00 子どもモルック大会

★行事予定は変更になる場合があります。



糸島市健康づくり課より

保健師コラム第29号

## 11月14日は

# 世界糖尿病デー

です

11月14日は世界各地で糖尿病の啓発活動をしています。

### 糖尿病予防のコツ3か条

1. ジュースに含まれている甘い炭水化物に気をつけて!
2. 食事のはじめは野菜から!
3. 食後1時間頃の運動が効果的!



健康づくり課では、国保の方を対象に特定健診を実施しています。健診費用は**無料!**

受け方については健康づくり課までお問い合わせください。

問い合わせ先：糸島市健康づくり課 ☎332-2069

## 灯台下暗し No. 31

「可也の安全を守ります」

糸島市消防団可也分団分団長

鬼木 亮輔さん(井田原)



記憶に新しいことですが、9月に台風が2回襲来し、可也コミュニティセンターで避難所が開設されるほどでした。その際、校区を回って防災に努めてもらったのが糸島市消防団可也分団の皆さんで、台風通過後も被害確認や後片付け、関係各所への連絡を行っていただきました。このほか、寒暑や昼夜を問わない火災や風水害への出動や行方不明者捜索、警戒・訓練・防災啓発など、校区の安全のための日頃からの活動は感謝の念に堪えません。

可也分団は、自動車班と地区別12班の13班で構成され、総勢74名の団員体制ですが、それを束ねるトップの分団長が鬼木亮輔(38)さんです。

鬼木分団長は、生まれも育ちもお住まいも井田原で、専業主婦という大変忙しい中で、故郷への恩返しという気持ちで分団長という大変な役職に就いて頂いています。

特に大変なことは新規分団員の確保で、可也で生まれ育った若者は進学や就職を機に市外に転出したり、新しく転入してきた人はまだ地域愛が深まらない中での勧誘となっています。

このほか、現在の活動においても、分団員にサラリーマンが多く、実活動人数の確保が難しいうえに、平日朝から夕の緊急出動時は、さらに出動人員に限界があるなどもご苦労があるようです。

最後に、鬼木分団長はじめ可也分団の皆様改めて感謝申し上げますとともに、特に20代・30代の皆様へは可也分団に是非入団していただくようお願いしたいものです(松本)



2022.7.17 糸島市消防操法大会での可也分団の雄姿

## わがまち自画自賛

可也山365.1m(1年は365日です)の麓に師吉は生業を重ねてきました。また、古くから可也山は巨石の宝庫です。

日光東照宮の第1の大鳥居は可也山の石で出ています。黒田長政の寄進で、約400年前に可也山から切り出されました。可也山の山中に石切り場跡や、穴居跡が今も残っています。

近代の師吉は大正10年を境に可也山から始まりました。住民の発意で、何か記念になるものを部落に残そうと、今の公民館建設が始まりました。中柱を1本も使わず、梁だけで持たせた大広間は、福岡西方沖地震にも耐え、今日まで建設当時のまま狂いもありません。糸島で最初にできた地域の公民館として、沢山の人が見学に訪れました。

昭和30年頃までは、約100戸が主に農業をして生活をしておりました。この50数年の大変貌は目を見張る次第です。現在は750数戸、約1900人です。更に今年度、昨年度で新築計画約170軒の予定です。

将来的にも新旧住民で可也山の元気を取り戻し、水資源の確保、水害の防止、里山環境の維持を考えて住民一同頑張らせて参ります。



可也山の空撮



師吉行政区長 山下 則義